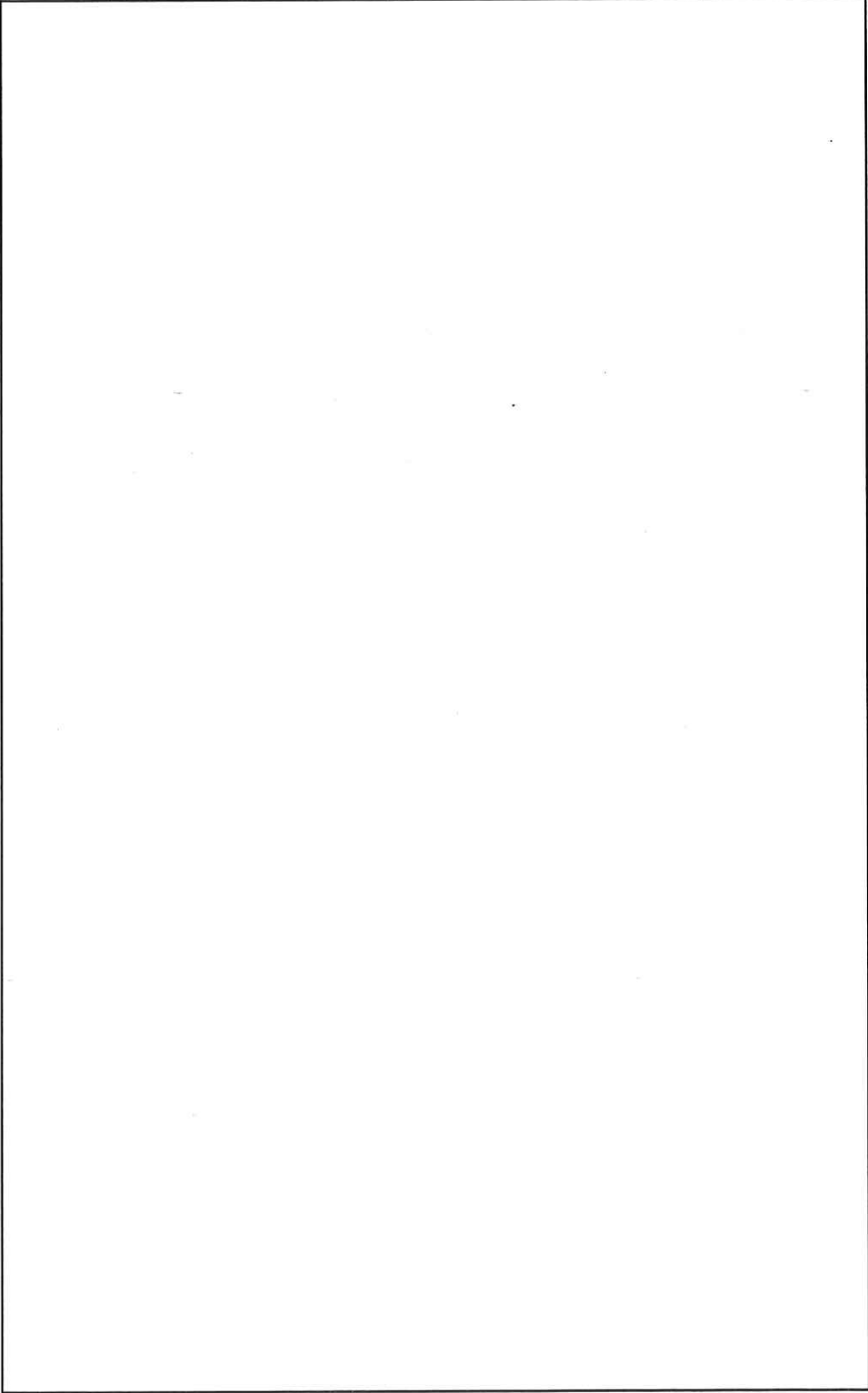
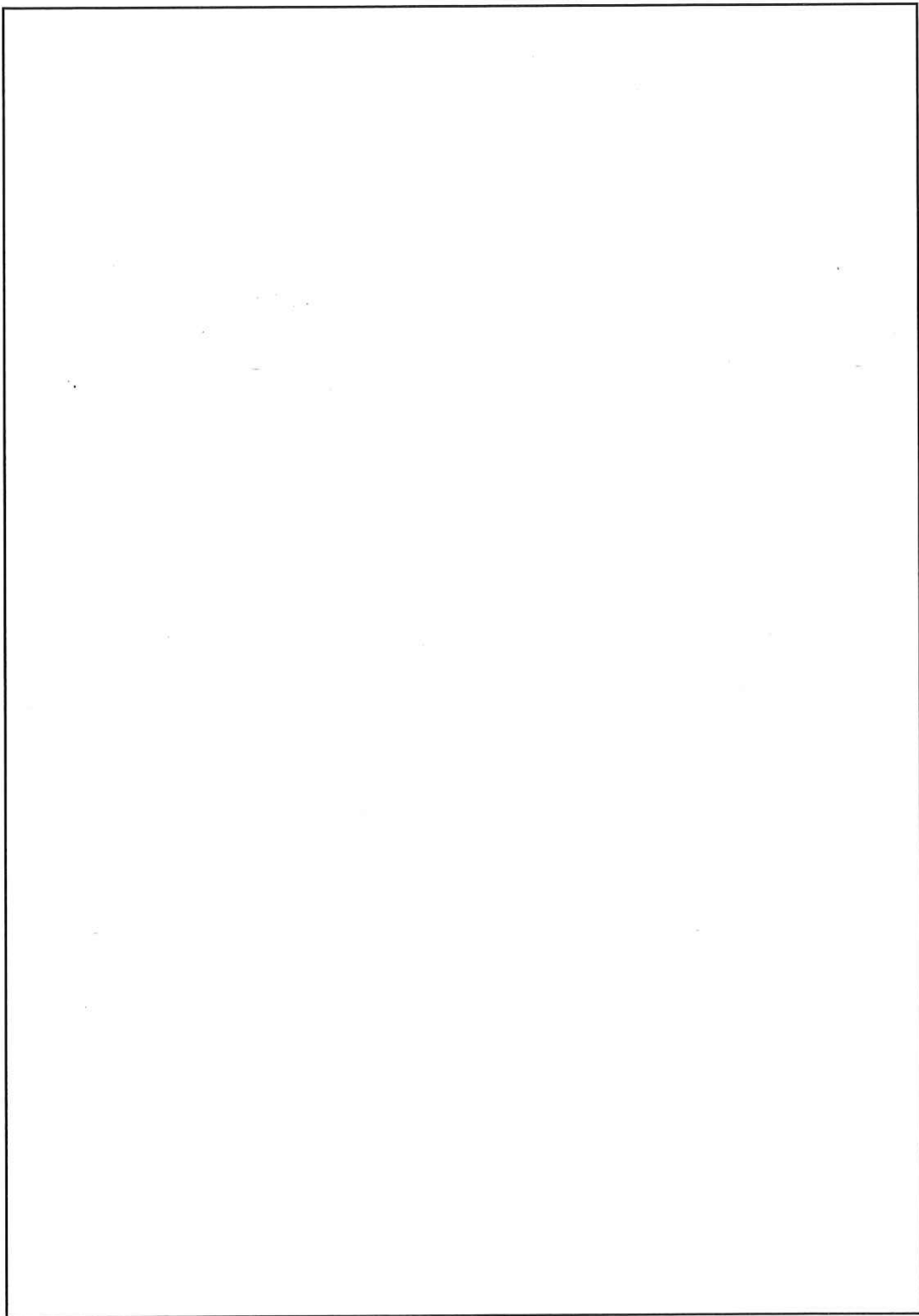


一

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。





(神島二郎『日本人の発想』による)

問一 傍線部(1)～(5)の片仮名を漢字に直しなさい。

問二 空欄 A に入るもつとも適当な語句を答えなさい。

問三 空欄 B C に入ることばとしてもつとも適当なものをそれぞれ次の中から選び、番号で答えなさい。

1 ところが 2 たとえば 3 したがって 4 なぜなら 5 もちろん

問四 傍線部(ア)「そこ」の指し示す内容を文中から十字以内で抜き出して答えなさい。

問五 空欄 D に入ることばとしてもっとも適当なものを次の中から選び、番号で答えなさい。

- | | | | | |
|------|------|------|------|------|
| 1 脚色 | 2 偽装 | 3 作為 | 4 演技 | 5 説得 |
|------|------|------|------|------|

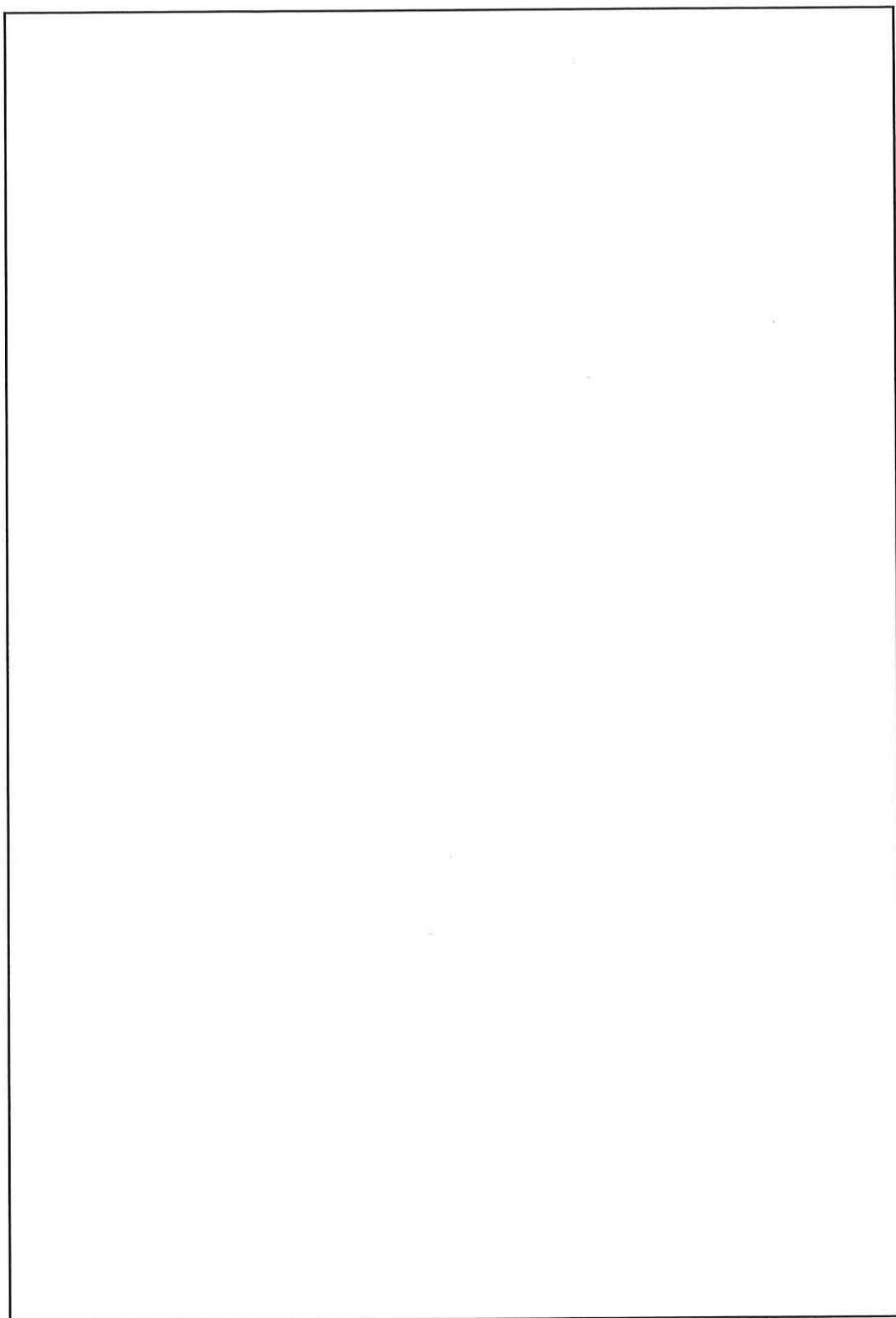
問六 傍線部(イ)はなはだ操作的である」とあるが、見立てや仕立てはどのような点で「操作的」なのか。もっとも適当な箇所を文中から二十五字以内で抜き出し、解答欄を完成させなさい(句読点も字数に含む)。

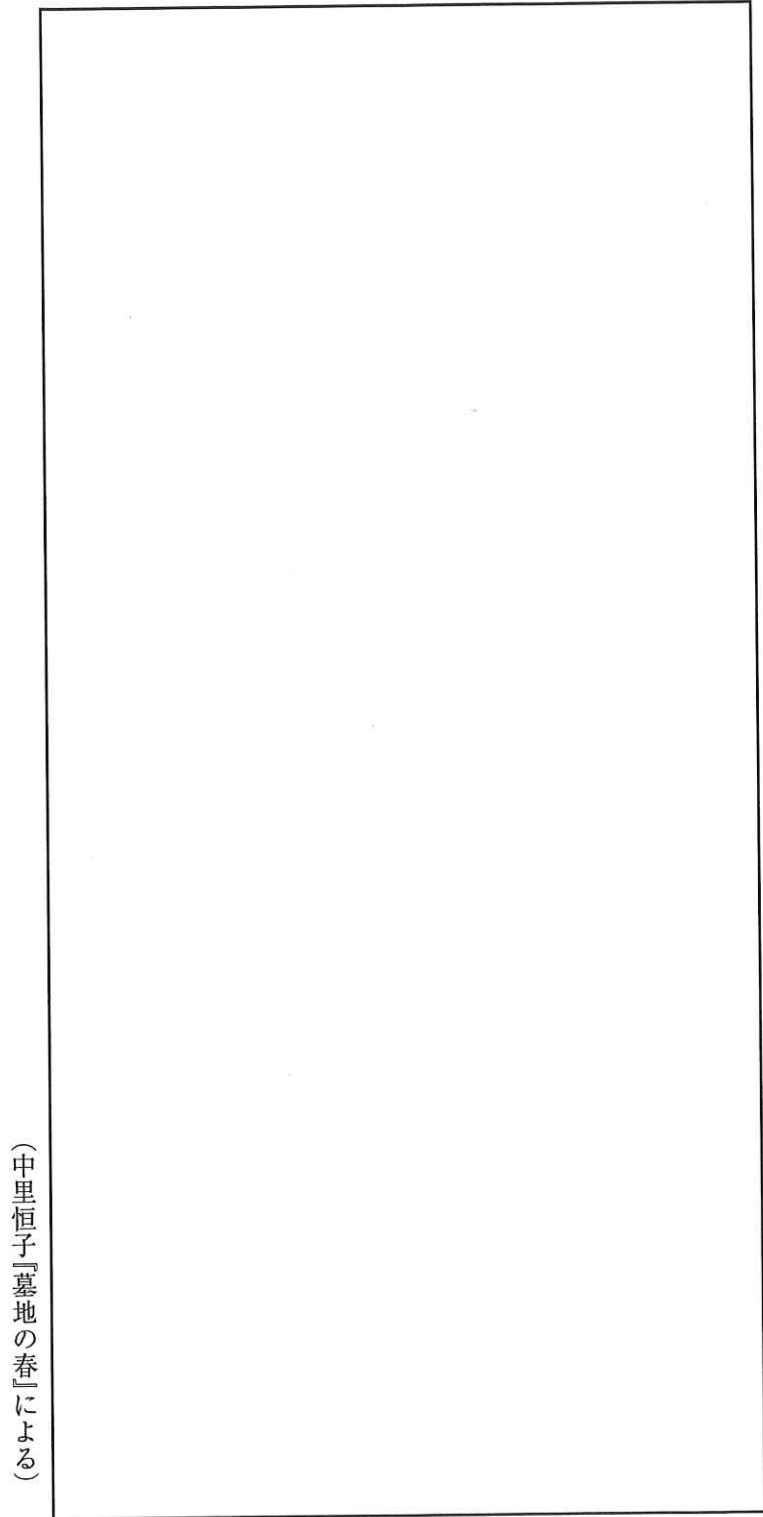
問七 本文の内容にもっとも合っているものを次の中から選び、番号で答えなさい。

- 1 子供のしつけには、短所を批判することで長所を強調する方法がもっとも適している。
- 2 「習うより馴れる」という諺には、他律的に型にはまった状態をよしとする日本人の考え方があらわれている。
- 3 真理を明らかにするためには、その内側に存在する別の事物の性質や機能を探し求めることが必要である。
- 4 「見よう見まね」の自発的学習に対して、しつけは他律的で、身体的技能訓練を主としている。
- 5 学ぶものの内発性は、型を教え込む他律的な教育方法の中であっても、軽視されるわけではない。

二

次の文章は、中里恒子『墓地の春』の一節である。日本人の父とイギリス人の母との間に生まれた娘マリアンヌは、第二次世界大戦の前に、病気のため若くして亡くなった。以下は、マリアンヌの父方の叔母にあたる「私」が、マリアンヌの母を訪ねる場面である。これを読んで、あとの問いに答えなさい。





(中里恒子『墓地の春』による)

(注1) 前の欧州大戦Ⅱ第一次世界大戦。

(注2) 会話文末尾の読点は原文に拠る。

(注3) 混血児Ⅱ異なる人種や民族の男女の間に生まれた子どものこと。人権的な配慮から現在は使用されないが、作品の歴

史性に鑑み原文のままとした。

問一 傍線部(1)～(4)の片仮名を漢字に直しなさい。

問二 空欄

A

C

に入ることばとしてもっとも適当なものをそれぞれ次の中から選び、番号で答えなさい。

- 1 まるで 2 おそらく 3 いかにも 4 もはや 5 つとめて 6 やがて

問三 傍線部(ア)「まるで私たちの内心を見透かされてもしたように」とあるが、「私たちの内心」の説明としてもっとも適当なものを次の中から選び、番号で答えなさい。

- 1 マリアンヌ本人の知らないところで結婚話を進めたうえに、勝手に破談を決めようとしているうしろめたさ。
2 マリアンヌの日本的教養のなさが、現在進んでいる結婚話を「破算にしてしまいかねないという不安」。
3 家庭環境と本人の気質上、自身で結婚相手を選ぶほかに方法はないだろうマリアンヌの将来への心配。
4 生まれが複雑で日本人らしくないマリアンヌには、日本人男性との結婚は望めないだろうというあきらめ。
5 気が強く、結婚に対して確固たる考えを持っているマリアンヌが、今回の縁談を断るだろうという危機感。

問四 傍線部(イ)「こんな風にしか、マリアンヌを育てられなかった」とあるが、「こんな風」とはマリアンヌのどのような様子を指すか。もっとも適当なものを次の中から選び、番号で答えなさい。

- 1 自己の血筋に悩みながらも、成長するまで誰にも相談することができなかった、内向的な様子。
2 西洋人である母親の教育により日本の伝統を学ぶことができず、社会に溶け込めない様子。
3 西洋人らしさも日本人らしさも身につかず、大人としての知識や品格がないまま育った様子。
4 西洋人と日本人のふたつの血を引く自分の存在に葛藤を抱き、こだわり続けている様子。
5 日本人にはない魅力で人を惹きつける反面、他者に心を許さない虚無的な側面を持った様子。

問五 傍線部(ウ)「そういうものがない方があたしにはかえっていい」とあるが、マリアンヌの母がこのように言ったのはなぜか。その理由の説明としてもっとも適当なものを次の中から選び、番号で答えなさい。

- 1 自分たちに対する娘の不満が、日記に直接的に書かれているだろうことが恐ろしいから。
- 2 日記という形見が残っていると、どうにかして娘を忘れようという決心が鈍ってしまうから。
- 3 ようやく心の整理がついたところなのに、日記を通して娘の死を再び思い出したくないから。
- 4 日記を読むことで、娘の思いを叶えられなかった自分の無力さを痛感してしまうだろうから。
- 5 肉筆の日記を読めば、娘の闘病の苦しみをまるで自分のことのように想像してしまうから。

問六 高校生のAさんは、この文章を読んだ感想を授業で発表することにした。以下は、Aさんが作成した発表用の原稿である。これを読み、次の設問に答えなさい。

この文章では、マリアンヌという I した女性を回想して、叔母の「私」とマリアンヌの母親とが語り合っています。亡くなった娘を思う母親の悲痛な心情が伝わってくる場面ですが、最も私の印象に残ったのは、戦時下の日本で、西洋人であるマリアンヌの母が抱えていた苦悩です。マリアンヌの母は、日本で周囲と同じような生活をし、日本で暮らしていることを誇らしく思っているのにもかかわらず、周囲から敵国の人間として見られてしまうことに苦しんでいます。マリアンヌについて「早く死んでよかった」と述べていますが、このように言うのは母が非情なのではなく、 II からでしょう。娘のマリアンヌは、戦争が始まる前に亡くなっていますが、感受性豊かな人物だったようです。 III 「という本人の言葉に、西洋人とも日本人ともいうことができない自己のアイデンティティに悩む、複雑な心情が端的にあらわれています。マリアンヌの母が言うように、仮にマリアンヌが戦時中まで生きていたとしたなら、もともと悩みを抱えていた彼女はとても苦しい思いをしたことでしょう。

戦争を題に取った昭和の文学作品には、原民喜『夏の花』や IV など多くの作品があります。『墓地の春』には、戦闘行為がもたらす悲惨な状況は直接描かれず、一般的に戦争文学とはみなされないかもしれませんが。しかし、戦時中の社会の側面を独自の観点から描いています。海外にルーツを持つ人々が戦時下の日本でどのような困難を抱えていたのかということは、これまで考えたことがありませんでした。多様な背景を持つ人々の立場を理解し、それぞれの生きにくさを考えることが、歴史や社会を知るうえで大切だと感じました。

(一)

空欄

I

に入ることばとしてもつとも適当なものを次の中から選び、番号で答えなさい。

1 早発

2 早天

3 早世

4 早退

5 早暁

(二)

空欄

II

に入る文言としてもつとも適当なものを次の中から選び、番号で答えなさい。

- 1 戦況が悪化し満足な暮らしができない現状を、マリアンヌが知らずにすんだ
- 2 西洋人に不信感を抱く世間の空気に、繊細なマリアンヌをさらしたくなかった
- 3 マリアンヌの望みであったイギリスへの帰郷が、戦争によって叶わぬ夢となった
- 4 日本で幸福に暮しているという思いを、マリアンヌが最後まで持ち続けられた
- 5 戦争でイギリスと日本が敵対したことで、マリアンヌの将来が見通せなくなった

(三)

空欄

III

に入る文言としてもつとも適当な箇所を文中から十字以内で抜き出して答えなさい(句読点も字数に含む)。

(四)

空欄

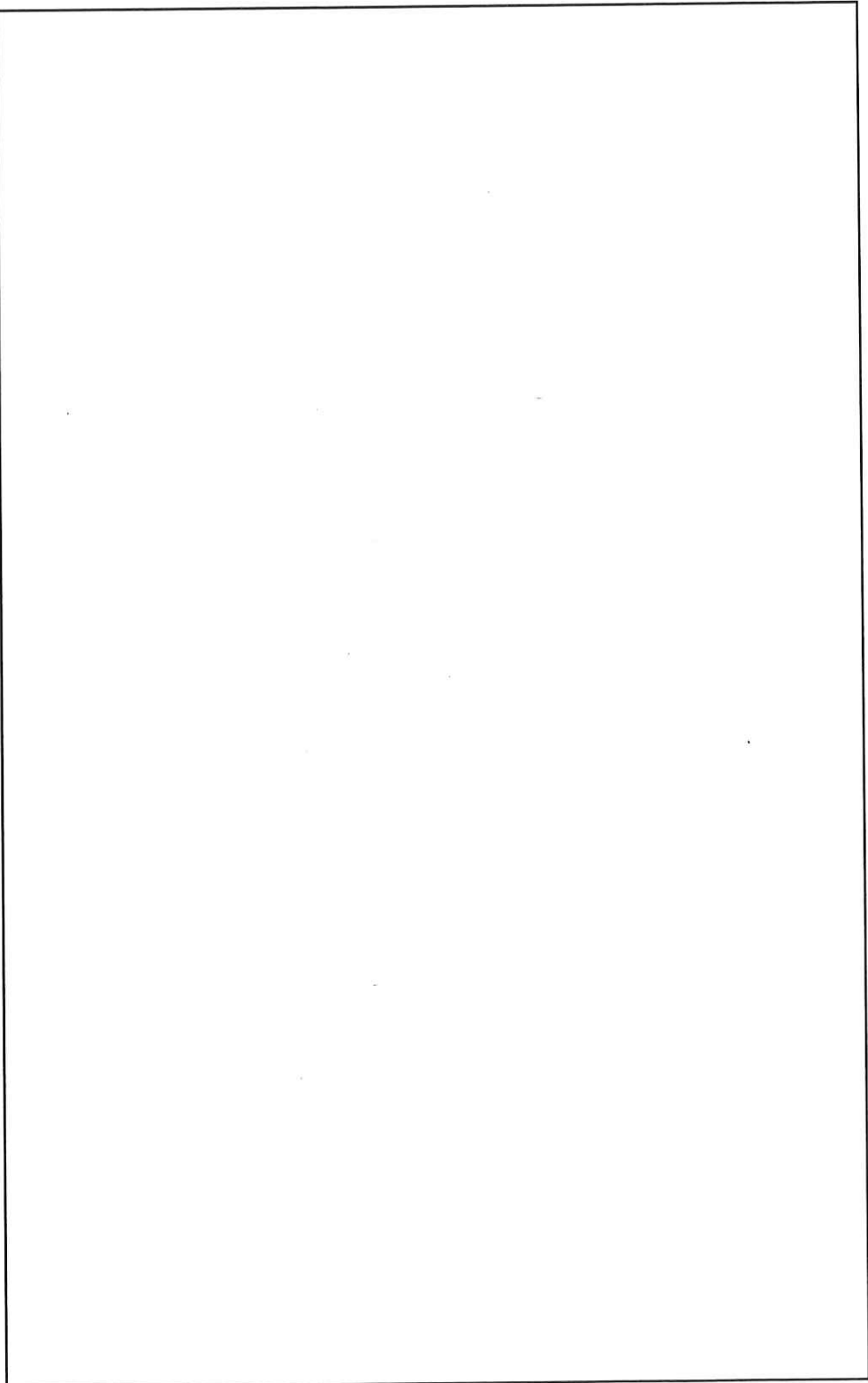
IV

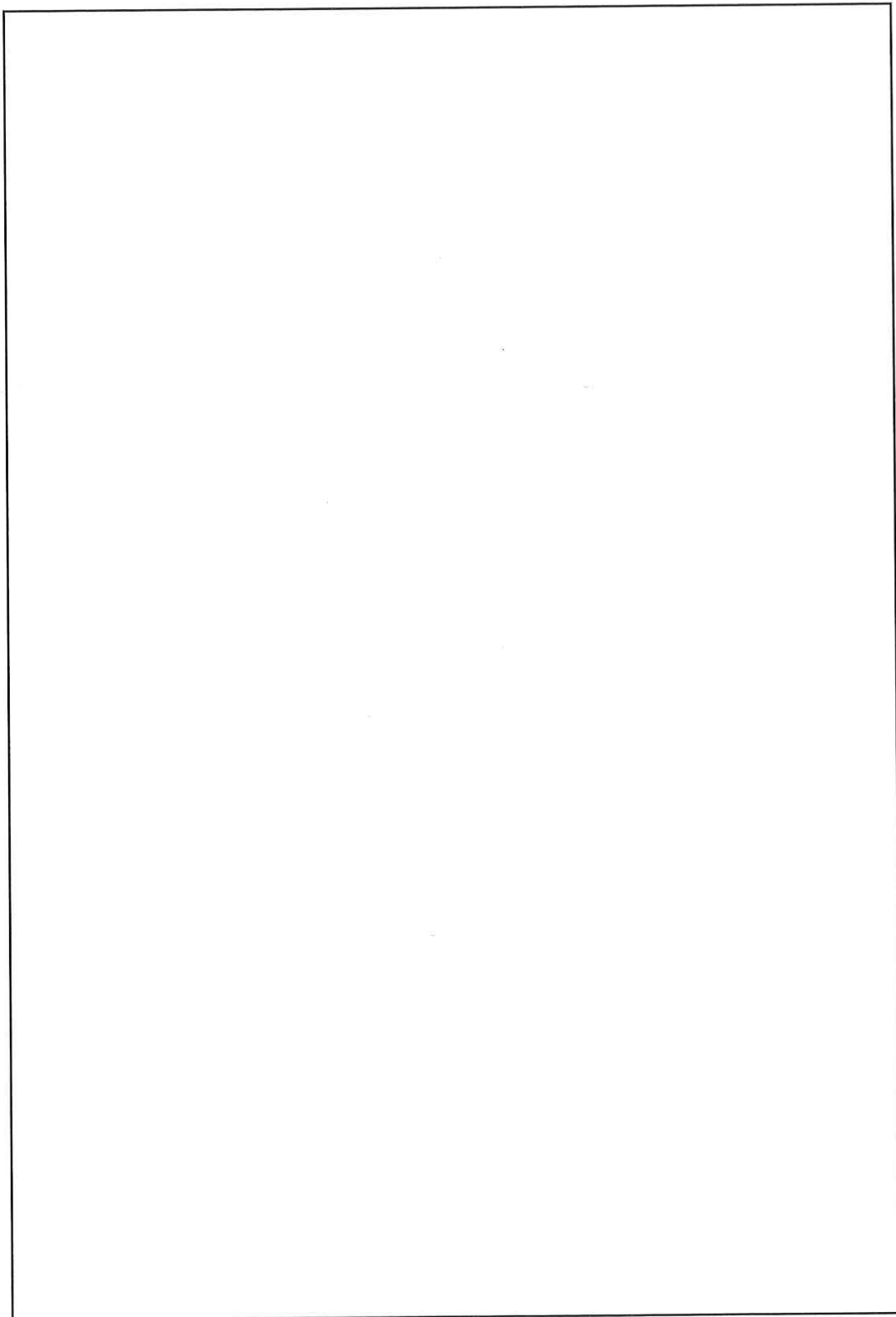
に入る作者と文学作品の組み合わせとしてもつとも適当なものを次の中から選び、番号で答えなさい。

- | | | |
|------------|--------------|--------------|
| 1 田山花袋『蒲団』 | 2 大岡昇平『野火』 | 3 小林多喜二『蟹工船』 |
| 4 太宰治『斜陽』 | 5 島崎藤村『夜明け前』 | |

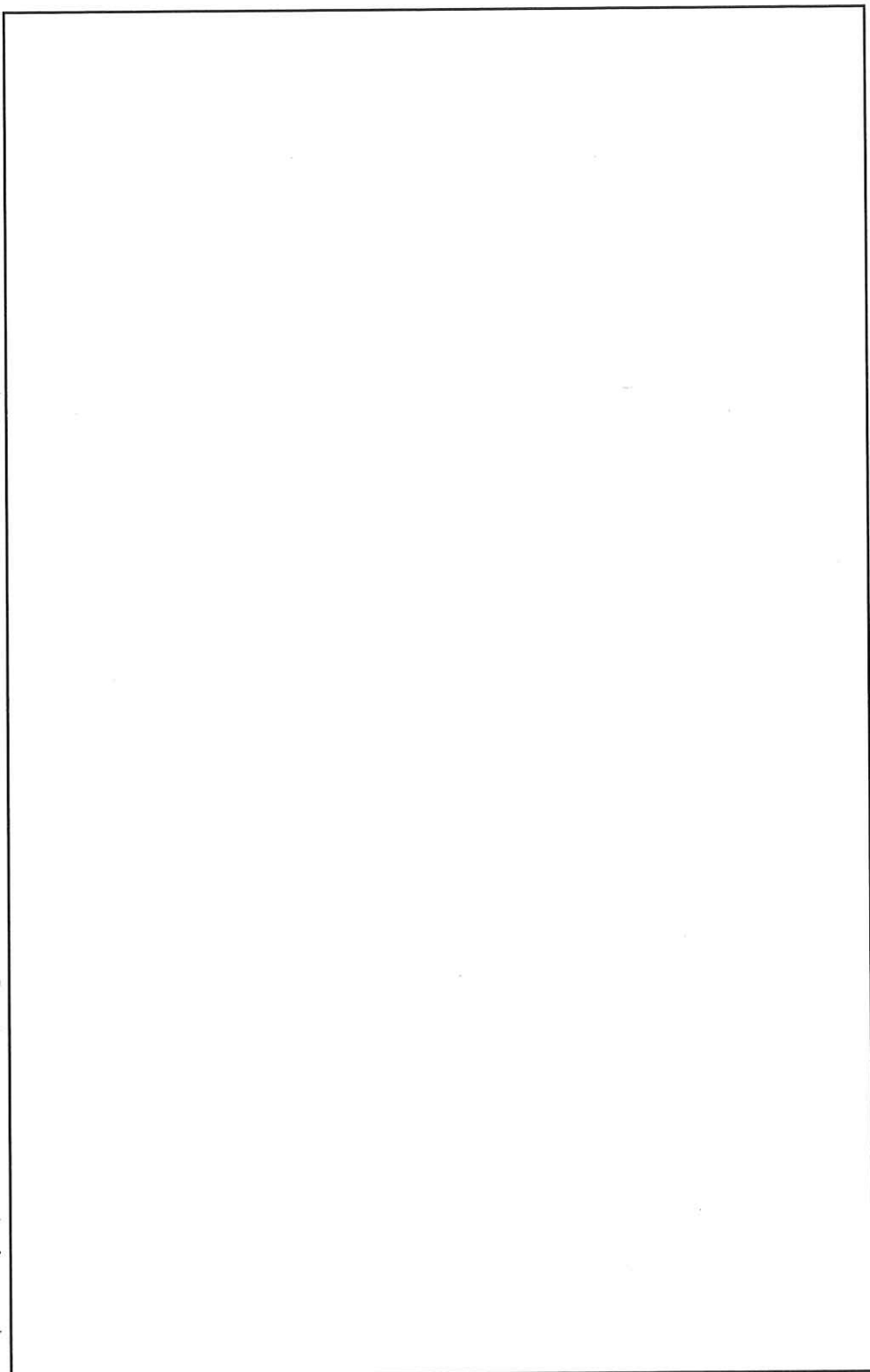
三

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。





(長谷川宏『高校生のための哲学入門』による)



問一 傍線部(1)～(4)について、片仮名を漢字に直しなさい。

問二 傍線部(ア)「交錯」、(エ)「洞察力」の意味としてもっとも適当なものをそれぞれ次の中から選び、番号で答えなさい。

(ア) 交錯					(エ) 洞察力				
5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
複数のものがぶつかり合うこと					冷静に判断する力				
複数のものが順序づけられること					一つの事に集中する力				
複数のものが入り混じること					社会の実情を捉える力				
複数のものが集合すること					他者に共感する力				
					物事の本質を見抜く力				

問三 傍線部(イ)「主体的に問題になる」とはどのようなことか。その説明としてもっとも適当なものを次の中から選び、番号で答えなさい。

- 1 就職を希望している人が、自分や社会の問題を肯定的に捉えるようになること。
- 2 職を求める人が、自分なりに問題に向き合い、考え、決断するようになること。
- 3 職選びに悩む人が、自分の価値観と社会通念との違いを把握するようになること。
- 4 職場で悩んでいる人が、自分のおかれた今の状況を受け入れるようになること。
- 5 職場で問題を抱える人が、自分と周囲との関わりを見つめ直すようになること。

問四 空欄 A B に入ることばとしてもっとも適当なものをそれぞれ次の中から選び、番号で答えなさい。

- 1 たとえば
- 2 とはいえ
- 3 それでも
- 4 また
- 5 なぜなら

問五 傍線部(ウ)「自分をつらぬく」とあるが、それと反対の生きかたを表す箇所を文中から三十五字以内で抜き出して答えなさい(句読点も字数を含む)。

問六 本文の内容にもっとも合っているものを次の中から選び、番号で答えなさい。

- 1 職業選択で大切なことは、自分の望みと適性のバランスである。
- 2 周囲の意見に従い慎重に行動することで、精神的な成長が期待できる。
- 3 過去との向き合いかたは、今後の生きかたを左右することになる。
- 4 自分の適性を見きわめることは難しいので、自由に生きればよい。
- 5 自分自身と向き合い、自分の生きかたを選び取ることに価値がある。

問七 この文章を読んだ生徒たちは、「私の将来の計画」という題で作文を書き、後日、その要旨を発表することにした。生徒1～6の中で、本文の内容に合わないものを二つ選び、番号で答えなさい(順不同)。

- 生徒1 小さい頃から本を読むのが好きだったので、出版や編集の仕事を目指して専門学校に進もうと考えている。
- 生徒2 大学で福祉を学び、ボランティア活動にも参加しながら、将来は介護の仕事を通して社会に貢献したい。
- 生徒3 将来は海外で働くという夢があるので、語学の勉強を続けながら、まずは国内で経験を積むつもりだ。
- 生徒4 家族に心配をかけたくないので、地元で有名な大企業に就職し、安定した生活を送ることを優先したい。
- 生徒5 今はまだ明確な夢がないが、いくつかの分野でインターンシップをしながら、自分の適性を見つけたい。
- 生徒6 自分に合う仕事がよく分からないので、学校で紹介された企業にそのまま入社しようと思っている。

一

【解答例】

- 問一 (1) 由来 (2) 潜在 (3) 反射 (4) 対照 (5) 消息
- 問二 習わぬ・ならわぬ
- 問三 B―5 C―2
- 問四 身体でおぼえる訓練（9字）
- 問五 3
- 問六 本来別のものが同一視されるように仕組まれている（23字）
- 問七 4

【出題意図】

- 問一 基本的な漢字の書き取り。
- 問二 文脈理解とことわざの知識の確認。
- 問三 接続詞の理解。
- 問四 指示語の指示内容の把握。
- 問五 文脈理解と語彙力の確認。
- 問六 内容の把握。
- 問七 内容の把握。

二

【解答例】

- 問一 (1) 癖 (2) 可憐 (3) 到底 (4) 兵隊
- 問二 A―6 B―1 C―3
- 問三 3
- 問四 4
- 問五 4
- 問六 (一) 3
(二) 2
- (三) あたし人間なのよ（ ）（8字（9字））
- (四) 2

【出題意図】

- 問一 基本的な漢字の書き取り。
- 問二 副詞の理解。
- 問三 内容の把握。

問四 内容の把握。

問五 内容の把握。

問六 語彙力の確認・内容の把握・登場人物の心情の理解・基礎的な文学史の知識の確認。

三

【解答例】

問一 (1) 希薄・稀薄 (2) 抑制 (3) 営 (4) 消費

問二 (7) 3 (11) 5

問三 2

問四 A 4 B 2

問五 自分を放棄し、他人の、あるいは、なんらかの権威の、いいなりになる (32 字)

問六 5

問七 4・6 (順不同)

【出題意図】

問一 基本的な漢字の書き取り。

問二 語彙力の確認。

問三 内容の把握。

問四 文章構造の理解力の確認。

問五 内容の把握。

問六 内容の把握。

問七 内容の把握。